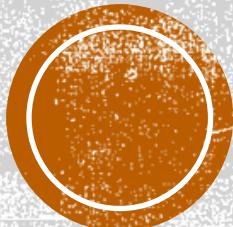
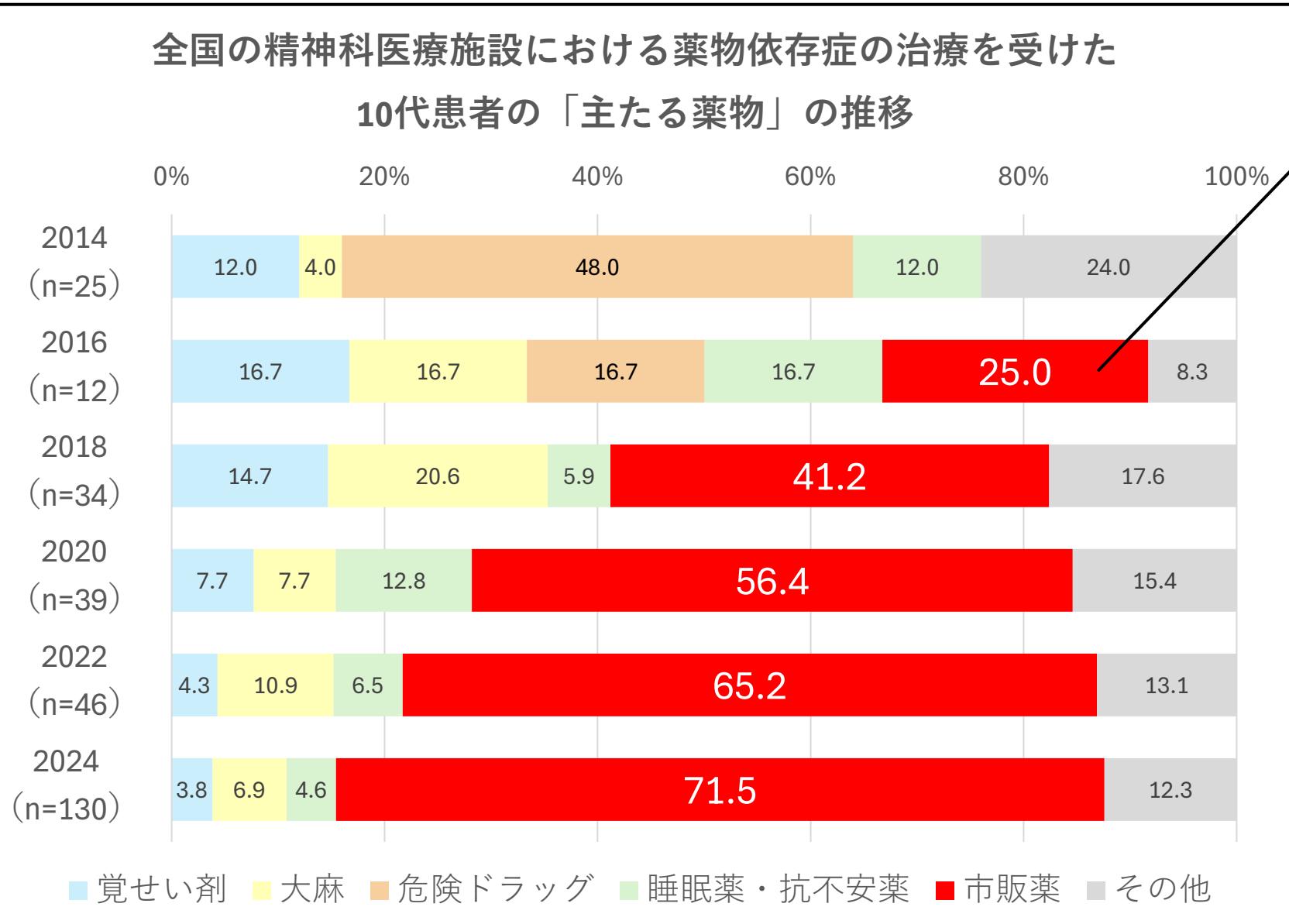


# 10代の市販薬オーバードーズの現状と課題

東奥義塾中学校・高等学校  
養護教諭 中村元氣





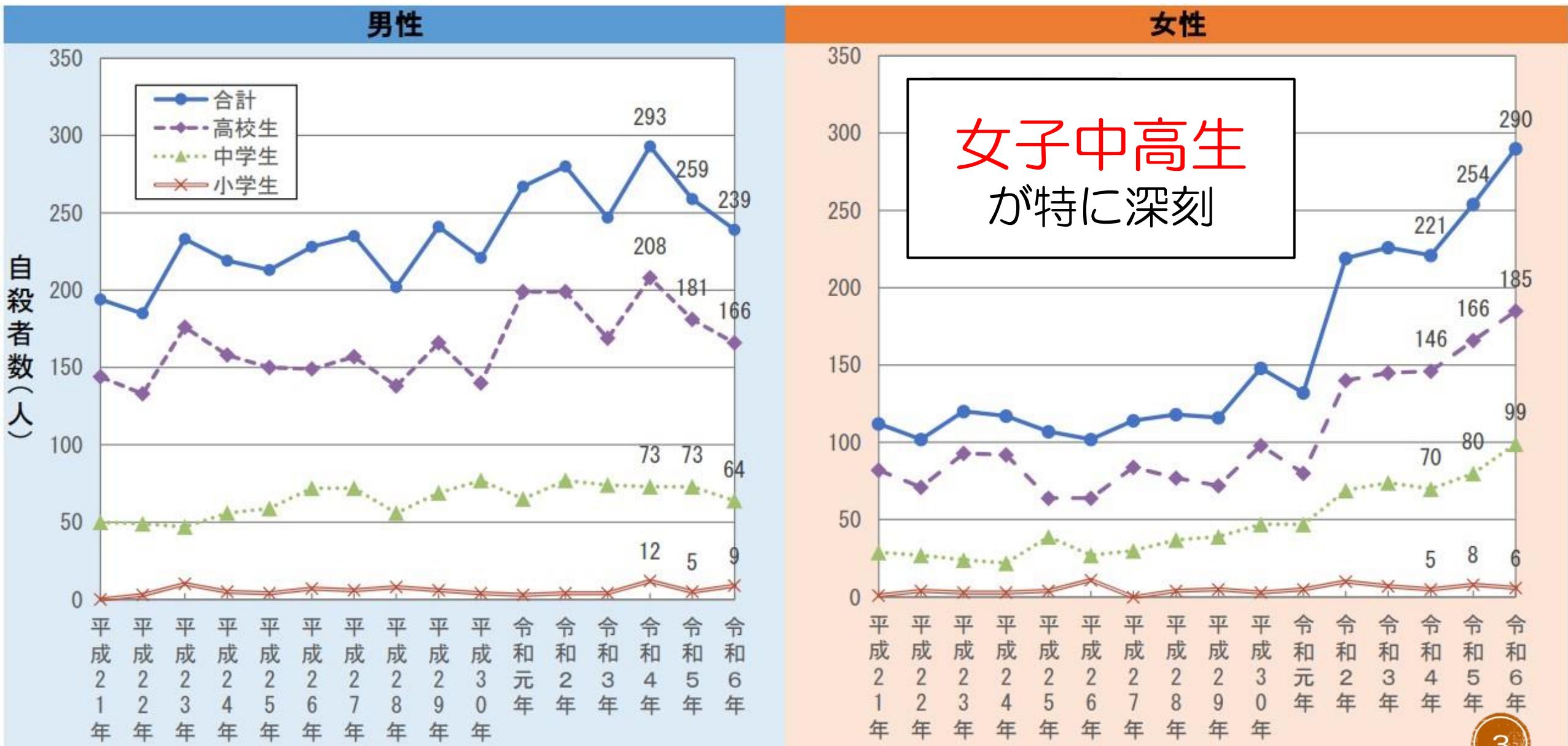
- ・女子に多い
- ・希死念慮高い

中学生の  
約55人に  
1人が  
市販薬ODを  
経験

出典：飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査（島根,2024）

出典：全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査（松本,2024）

# 小中高生別・男女別の自殺者数の推移



出典：厚生労働省「令和6年中における自殺の状況」

# 現状の予防策

薬物乱用防止教室における有害性の周知

薬のパッケージへのリスクの記載

啓発メッセージの発信

ドラッグストアでの販売個数制限

薬剤師・登録販売者による販売時の声掛け

相談機関での支援体制の強化

効果は限定的…

頼れば苦しい  
頼らなければもっと苦しい



# 今後展開されてほしい予防策

## 行政

- ・乱用リスクの高い薬を第1類に変更
- ・乱用リスクの高い薬の販売禁止 or 医療機関限定の処方に戻す

## 企業

- ・コンソーシアム(共同事業体)を組み、他社間でも同一購入者が分かるシステムを構築
- ・ODしづらい売り方(ピン×、小粒×、大容量×)

## 学校

- ・セーフティネットとしての機能の強化
- ・ソーシャルスキルの育成

## 相談機関

- ・アウトリーチ支援の強化

